



つるおか市立図書館 おはなしポケット 2017.10.vol 264.

おはなしポケットのかわつら

おはなしポケットは鶴岡市立図書館のおはなしボランティアです

館内おはなし会

1かいのえほんコーナーで
毎週水曜日・土曜日の午後
絵本などのよめきかせ
第4水曜日には0-1才向けの
おはなし会もしています。

おはなし
ポケットメンバー
になりませんか?

キラキラの子供たちにおはなし
を届けませんか? まずは
お気軽に見学からどうぞ。
お問い合わせ (0235)
25-2525
吉住まで

メンバー例会

月に1回程度の
ホケット例会があります。
よめきかせ、素語りの研修や
おはなし会の打ち合わせなど
も行います。新しい出しものの検討
制作なども
おこないます。

第3水曜日
は昔が刊の日

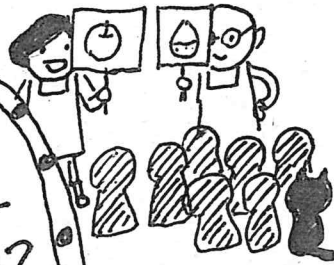
大きいおはなし会

春・夏・冬に図書館で
人形劇・ペープサート・
パネルシアターなどの
おはなし会を開催します
次回冬のおはなし会は
12月9日(土)・10日(日)
です。



派遣おはなし会

おでかけ
小学校や親子読書会や
子育てサークルなどへ
おはなしをとどけます。



10月

日	月	火	水	木	金	土
1	2 休館日	3	4 4じ~ おは水	5	6	7 3じ~ おはどん
8	9 体育の日	10 休館日	11 4じ~ おは水	12	13	14 3じ~ おはどん
15	16 休館日	17	18 4じ~ おは水	19	20	21 3じ~ おはどん
22	23 休館日	24	25 11じ~おはちび 4じ~おは水	26	27	28 3じ~ おはどん
29	30 休館日	31	開館時間 平日・9:30 ~ 19:00 土・日・祝日・9:30 ~ 17:00 休館日 毎週日曜日(祝日が重なる場合は翌日)			

館内おはなし会のごあんない

おはなし水曜日 おは水	おはなしちびよび おはちび	おはなし土曜日 おはどん
----------------	------------------	-----------------

毎週水曜日 4じ~4じ30分	第4水曜日 11じ~11じ30分	毎週土曜日 3じ~3じ30分
-------------------	---------------------	-------------------

学校おわってから 図書館へGO 絵本よめきかせ 中心に	0~1さい向け おはちび・わらわら えほんなど	季節のおはなし よめきかせ 紙しばい など
--------------------------------------	-------------------------------	--------------------------------

おはなし
のこころを
大切に
おきか
せて



館長の



こと室の本棚から



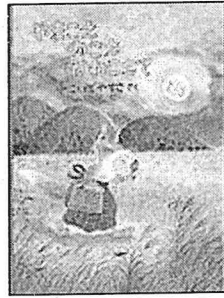
お彼岸を過ぎて、車で少し郊外を走ると、きれいなススキがそよんでいます。日暮れが早くなった分、きれいなお月様を見る機会も増えました。今年の仲秋の名月は10月4日。「おつきみの季節だなあ」と思うわけです。そこで今月は「お月様」が出てくる絵本を探してみようかな？と。

悩んだ末、今回紹介するのは、「やまこえ のこえ かわこえて」(こいでやすこ作 福音館書店 2001 年刊)にしました。お月様が主役ではないのですが、お月様には、助演賞を差し上げたくなるような絵本なので。

きつねのきつこは、満月の夜に町まで買い物に出かけます。おまじないは「こわくない こわくない」。心配してついてきてくれるのは、お月様とふくろうといった「ちい」と「にい」です。山を越え、野を越え、川を越えてお豆腐屋さんまで、油揚げを 100 枚買いに出かけます。無事に買い物をした帰り道、「こわいぞ～こわいぞ～ 油揚げ全部おいていけ！」と物陰から影が……。でも、大丈夫。お月様たち仲間のおかげで、大事な油揚げを無事に家ま



「パパ、お月さまとって！」
エリック・カール 作
もりひさし 訳
偕成社
1986年



「やまこえ のこえ かわこえて」
こいでやすこ 作
福音館書店
2001年

で持って帰ります。その油揚げで、美味しい稲荷寿司を作ります。おやまの秋祭りには、きつこのおいなりさんを楽しみに、山の皆が来るのですから。

お月様は、不思議ですよ。お日様より、ずっと私たちの近くにいる感じ。見守ってくれているような。そのうえ、私たちが動いても、ずっとずっとついて来てくれること、子どもの頃、不思議ではありませんでしたか？この絵本では、子どもの頃のお月様の不思議と、見守ってくれている感じが、そのまま描かれています。そして、ちょっぴり怖い冒険と、仲間の心強さと、おいしいものも出てくること、このお話が、子どもの心にすとんと落ちるのは、それが全部一冊に入っているからでしょうね。

お月様の絵本はたくさんあります。エリック・カールの「パパ、お月さまとって！」(偕成社 1986 年刊)、フランク・アッシュの「かじってみたいな、お月さま」(評論社 1985 年刊)、いわむらかずおの「14 匹のおつきみ」(童心社 1988 年刊)、市川里美の「おつきさま、こんばんは！」(講談社 2011 年刊)等。たくさんのお月様と出合ってくださいね。



「かじってみたいな、お月さま」
フランク・アッシュ作
山口文生 訳
評論社
1985年

☆おはなしポケットメンバーおすすめ本☆

ある日3歳のK君が、青のくれよんで「シャー シー」とつぶやきながら、のびのび大きな曲線を描いてました。「なに描いてるの？」と聞いたら「シャー、シェンシェ(先生)シークだよ。」 そう、描いていたのは、K君が大好きなシャーク(サメ)の絵でした。そういえば、よく見るとなんとな～く曲線がサメっぽいかも。そして位置はちょっとずれていて丸が閉じていないけど、目もちゃんとありました。絵を読み取れなくてごめんね、すごく立派なサメの絵です！

「ぼくのくれよん」(おはなし・え:長新太 講談社 1993年)のぞうも絵本のなかで、巨大なクレヨンで「にゅー」つつかんで、のびのびお絵かきします。それはもうすごい迫力です。動物たちは本物の池だと思って飛び込んだり、火事だと思って逃げ出したり、次々と勘違いをしてしまいます。動物たちは本物と勘違いして怒ってしまうけど、ゾウはそんな関係ない！くれよんを持ってかけだします。まだ まだ絵がかきたいんだよね……。子どもたちにはいつまでも、こんなふうののびのびとおもいきりお絵かきを楽しんでもえたらいいな……。と思います。



そして子どもたちは、わらべうたが大好きです。

「せんべ せんべ やけた どのせんべ やけた このせんべ やけた」とうたっていると、いつのまにか小さなおててが私の周りに、いっぱい集まってきます。うたが始まると、おててのせんべいが焼けるのをじっとまっています。そして自分のせんべいが焼けると、本当においしそうに食べてくれます。「はやく自分のせんべいが焼けないかな～」というドキドキ感を味わいながら、じい～っとじい～っと待ってられるのはすごいことだな～とつくづく思います。「せんべ せんべ やけた」(絵:ましませつこ 案:こばやしえみこ こぐま社 2006年)の絵本では、小さな女の子が「ごっこ遊び」で焼いた煎餅やおだんごを、「はい どうぞ」とみんなにご馳走してあげます。ちょっぴりはにかみながら、それでいて嬉しそうにおせんべをご馳走している女の子の表情が素敵です。わらべうたには、鶴岡出身の絵本作家ましませつこさんの絵がぴったり！絵本からやさしいメロディーが聞こえてきそうです。



わらべうたはおはなしのはじまりです。そして、道具が必要ないのでいつでもどこでも、子どもと一緒に楽しめます。絵本に楽譜が付いていますが、ふしがわからなくても大丈夫！電子音ではない、やさしいママの声を届けてほしいなあ……。と思います。

おはなしポケット みかん



てあそび✿わらべうた やってみよう

『おてらの おしょうさん』



おてらのおしょうさんが
かぼちゃのたねをまきました



めがでて ぶんらんで



花がさいて かれちやって



にんぽうつかって

おかあさんと子どものあそびうた
『あんたがたどっこさ』
(ましませつこ) 訳



ぐるりとまわって
じやんけんポン



ぶんらんで



そらとんで



じょうきょうたりに